



焼け跡に無残な姿をみせる方広寺の大仏

漏電か不審火

現場検証 大仏さんも黒こげ

方広寺火事

二十七日よ、京都市東山区の
天泉宗「方広寺」(木下毅俊住
職)の大仏殿が全焼した原因につ
いて、京都府警松原署と京都市消
防局は十八日迄さら出火場所
とみられる同大仏殿付近を中心
に、合目現場検証をはじめた。そ
の結果、出火当時、大仏殿にはだ
れもおらず、とくに大仏の裏側右
付近の建物の燃えかどいこと
などから漏電か、不審火によるこ
の疑いを強め、寺側からさらにく
わしく事情を聞いていた。

現場検証は、府警鑑識課員、京
都府文化財保護課員らもまじえて
約五十人によって行なわれたが、
焼け跡は大仏殿の骨組みだけが広
い境内にそり立ち、名物の、京
の大仏さんも骨組みをむき出し
にして無残な姿。
調べによると大仏殿は参拝客が
去った午後五時に、木下任職の
梁、憲次さん(三)が見回ったうえ
カギをかけ、同十一時ごろトイレ
に立ったときも異常はなかったと
いい、出火当時、中にはたれもい
なかった。

しかし、裏側右手がひどく燃え
ていることや、夜間は境内への人
の出入りは自由だったことから、
漏電か放火など不審火によるもの
とみて、二十七日の大仏殿の人の
出入り、配電設備などについて、
くわしく調べている。

なお、この火事で、本尊の大仏
のほか、約四十体の仏像や仁王像
も焼けたことがわかった。

拝観受付所 付近が火元?

方広寺大仏殿の火事

京都市東山区の方広寺「木下寂
俊住職」の大仏殿が二十七日深夜
焼けた火事で松原署、市消防局な
どは、二十八日の現場検証から、
火元は、全焼した大仏殿の正面西

原因はタバコの火

ミナミの商店街火事

南角の拝観受付所付近との見方
を強めた。これまでの調べでは、
出火前後に同寺周辺を不審者がう
ろついていた、などの照込みはな
く、放火の疑いは薄いとされている
が、出火原因はつかめなかった。
二十九日も大仏殿内部などの検証
を行う。

大阪・ミナミの心斎橋商店街

の商店街密集地で、二十四日午
後、強風にあおられて二十店舗を
全半焼した火災の原因は、二十八
日までの酷暑の調べで、たばこの
吸いからの不始末にほぼ間違いな